

第 34 回精華町環境推進委員会 会議録

会議名		第 34 回精華町環境推進委員会		
開催日時		令和 6 年(2024 年) 7 月 31 日(水)10:00～		
開催場所		精華町役場 図書館集会室		
出席者	委員	上甫木委員長、寺本副委員長（精華町商工会）、信田委員(精華町環境ネットワーク会議)、島田委員（精華町自治会連合会）、井澤委員（精華町女性の会）、岩本委員（公募）、渡辺委員(公募) （敬称略・順不同）		
	事務局	健康福祉環境部：岩前部長 健康福祉環境部環境推進課：山崎課長、八木係長、大西係員（敬称略）		
		(株)地域計画建築研究所(アルパック)：中川（敬称略）		
傍聴の可否		可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の場合、その理由				
会議次第		1．開会あいさつ 2．議事 ①今年度の進め方について ②年次報告「精華町の環境（令和 5 年度）」（素案）について ③地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の指標について 3．その他 資料①：令和 6 (2024)年度精華町環境推進委員会スケジュール 資料②：精華町の環境（令和 5 年度）（素案） 資料③：再生可能エネルギーの導入目標について 参考資料①：第33回精華町環境推進委員会議事録、精華町地球温暖化対策実行計画骨子について出された意見等 参考資料②：精華環境プラットフォーム 今年度の進め方について(案) 参考資料③：家庭向け自立型再生可能エネルギー設備設置助成事業費補助金の制度拡充について		

1. 開会あいさつ

事務局 定刻となったので第34回精華町環境推進委員会を開催する。
まず、環境推進委員の交代について報告する。島田委員が自治会連合会から参加いただく。
(定数確認)

岩前部長 (開会あいさつ)

2. 議事

①今年度の進め方

上甫木委員長 それでは、早速議事に入りたい。今年度の進め方について説明をお願いしたい。

事務局 ・資料①説明

上甫木委員長 質問、意見があればお願いしたい。環境プラットホームの取組で事業者について、商工会やまちづくり協議会に話を持って行って実施するということになるのか。

事務局 前回実施した事業者向けイベントは日程等があわないということで参加募集に苦戦していた。既存の集まる機会や役員会等の機械をとらえて開催させていただくと輪が広がるのではと考えている。これから関係団体と調整させていただきたい。

寺本副委員長 時間はどれくらい想定しているのか。

事務局 前は1時間であった。そのあたりも相談して開催できればと思う。

上甫木委員長 住民向けの2回程度はどんな機会にされるのか。

事務局 前回、3月に実施して、早く開催してほしいという声もあったので、可能な限り早い開催をしたいと考えている。

信田委員 募集をさせていただいて、参加いただくイメージを持っている。

信田委員 分からないでもないが、事業者向けと住民向けを別にする意図は何か。

事務局 まず、それぞれで実施して、ゆくゆくは事業者向けと住民向けをあわせていくイメージを持っている。すぐにプラットホームで集まっただけ議論を進めていくことがベストだが、その前の段階ということで、まずは興味を持っていただくきっかけとして集まっただけ場を設けていきたいと考えている。

信田委員 ゆくゆくは、一緒にしていきたいということで理解した。

上甫木委員長 環境基本計画がスタートした時から、プラットホームは創られていた。住民ぐるみで実施していたが、企業の参画が少ないということで、企業のニーズを拾い出して、最終的には一緒にやるような方向を考え

ようということだったかと思う。

どちらかというと、広いニーズを拾っていかうかということだったと思う。

信田委員

環境ネットワークは元々、企業も大学も色々な所が参画してネットワークを組むということが目的で出来た。この環境プラットホームと同じような形態だった。その中に環境啓発部会があり、事業者の中で何かニーズはないのか何箇所か試みたが、要求も出てこず、素地もなかった。出来れば、環境プラットホームはそういう形で発展できればと思う。あとは、学校に広げて、一緒に取り組める形に出来ると良い。

②年次報告「精華町の環境（令和5年度）」（素案）について

上甫木委員長

意見・質問をお願いしたい。

信田委員

P3に該当すると思うが、STEPは環境映画会を1回実施したが、昨年度から月1回実施し、10～20人/回参加いただいている。

年1回の環境映画会は水道をテーマに取り上げた。また、竹あかりに関する取り組みを行った。最終は、放置竹林の課題解決につなげていきたいと考えている。親子向けに竹あかりをつくるワークショップを3回開催し、今年も開催したいと考えている。協働・環境学習に入るかなと考えている。ぜひ、取り上げていただければと思う。

上甫木委員長

STEP映画会の年1回以外にも規模を変えて実施されているということか。

信田委員

そうである。役場の会議室やホールを活用して実施している。水問題をテーマにシリーズで実施し、次に、農業や食物関係、薬害の問題などシリーズで実施してきた。

事務局

取組実績の中に掲載していきたい。昨年度の6月から実施しているということで新しい取組を紹介したい。竹あかりの取組などは写真などとあわせて、コラムなどで紹介できればと思う。

岩本委員

目標2について、現実問題として、農業の継承について高齢化が課題になっている。精華町における1次産業、2次産業の比率がどうなっているか分からないが、どう1次産業者を広げていくのか。また、誰が誰に頼むのか、ということを課題として住民に意見を求められている。一番大事なのは田畑、どう継承していくのかが課題で具体策がない。地域に、今、現状を教えて欲しい、田畑の状況を色分けして欲しいという要請が町から来ている。

特産品開発連絡協議会がコラムで紹介されているが、バックデータなど何か情報提供いただきたい。

- 事務局 小規模農家が多い。今後の課題にあげていただけるとうれしい。
- 事務局 農業の継承について、ずっと課題とお聞きしてる。根本対策が求められているところかと思うが、決め手がない状況である。
- 事務局 さきほどの地域からの状況を分析しながら、今後、手立てを考えていると思うが、対策は農業担当にまかせることになるが、課題については、精華の環境にも掲載していきたい。
- 事務局 統計データの詳細については、具体的な数値を持ち合わせていないためわからない。統計でみる「せいり」に掲載させていただいているのでそこをご確認いただければと思う。
- 岩本委員 精華町としての方向性は、1次産業を伸ばそうとしているのか、6次産業を伸ばそうとしているのか、分からない。そのあたりについても情報提供いただけると助かる。
- 事務局 精華町では、農政サイドは6次産業化していきたいと考えているが、年々、耕地面積と農業人口も減少している。一方で、地産地消や特産品の開発などの方向性も出している。現状と方針がアンバランスになっているのではないかというきらいがある。
- 事務局 災害などのことも考えて農地保全が必要であり、どれだけ農地を残して、営農していくのかを考える時期に来ている。個人だけにまかせるのではなく、地域単位で守っていこうという動きもやっていかないといけないという方針もある。
- 事務局 守るだけでなく、攻めていく必要もあるので、その方向性を出そうということで各実行組合に調査をかけている状況かと思う。
- 事務局 環境保全という立場と地産地消の部分を指標として環境は出させていただいている。農政と環境の思いも違うところもある。突っ込んだ議論が出来ていないのが現状であり、今後、詰めて行ければと思う。
- 井澤委員 歯がゆい思いをするのは、数字だけ出しても、地域の野菜を出せといわれても限界はある。数字をどう活かしていくのか、横の連携が見えてこない。全て個人まかせのように感じる。行政が地域の取り組みをどう取り上げて後押ししてくれるのか、見えてこないで、歯がゆい思いがある。
- 井澤委員 竹藪について、今年から、メンマづくりに着手した。若竹を業者に出して広がりつつあるのかなと感じている。とってきて、削って、ある程度の大きさにして出荷する。また、たたかれて安い価格ではある。大変ではあるが、ほっとくよりは楽かなという印象である。
- 岩本委員 処理できるごみについて数値が出ている。町が扱わないごみ、新聞、古紙、産業廃棄物のデータは入っていない。

農業に関する廃棄物は産業廃棄物として、専門業者に出す。大変多い。ハウスの撤去、農機具の撤去などたくさん出てくる。これがテーマになっていない。あげるべきか、町が及ぶところのみを対象とするのか。

上甫木委員長 環境推進委員会は横串を指す委員会なので、農業の方だけではいけないということが見えていて、移住者の力、都市住民の力を借りる必要がある。従来の農業の価値も見いだしていく必要がある。ひとつの側面だけでは見れない。そういう視点は、環境推進委員会の評価のところにに入れていただきたい。

農業分野だけでなく、環境保全や恵みを活かす、地元の人だけでなく、外の人とどう連携するのか、など担当間で調整していただき、推進委員会として横串を入れていきたい。

また、ごみについて、目標 3 について、内容と産廃の扱いについて紹介いただきたい。

事務局 こちらの数値は家庭系と事業系の一般廃棄物を対象に記載している。

環境基本計画は上位計画で、別途、一般廃棄物処理計画があり、個別の分野についてはそちらにまかせている。

信田委員 目標 2 について、目標値と実績値が関連していない。全体の何%なのか、表現していただきたい。

農業の問題は、精華町にとって大きな問題である。環境・経済の循環と記載されているが、農業関係は特産品開発くらいしか記載されていない。一次産業については、ここでしっかり取り上げるべきと思う。

これからの社会にとって、食の地産地消は大きな課題である。全体の枠が狭すぎて、この問題が取り上げられないという状況になっているのではないかと思う。

上甫木委員長 主な事業の進捗状況は関連する事業を担当課から出してもらって出しているという理解でよい。

一次産業については、農政課としては、さきほどの地域計画など他にあげるものがあれば、あげてもらってもよいと思うので、調整いただければと思う。

信田委員 あがっている項目の枠が狭すぎる。一次産業についても言及いただければと思う。

上甫木委員長 事業としてないとするれば、環境推進委員会の評価、今後に向けてということに記載していくことになる。

また、目標 2 について、触れる機会がどれくらいあるか、という視点

で記載いただいていると思う。開催されて、子どもたちの感想文とかなどとっていただき、こうだったということを補足的に見るというのもひとつかと思う。

事務局

実態としては、地域の農業学習が3,4年生である。卒業する前までにそこで体験する状況にはなっており、今は、1年間に実施した回数を掲載させていただいてる。

学校現場で実施しており、活動の様子がどこまで聞き取れるか、確認していきたい。

現状は、どこかの学年が体験しているという状況である。卒業までに、ということであれば、1回は体験する。

上甫木委員長

人数や割合は難しいので、触れる機会がどうあったかということかと思うが、回数も全生徒に1回なのか、学年単位で1回なのか、きめ細やかに記載いただくと改善の方向性も見えてくる。

中学校給食への提供はいいことだと思うが、目標値にはあげていなかったかと思う。改定の時に反映でよいかと思うが、実績で、どれくらいの量なのか分かれば記載いただければと思う。

事務局

次年度が中間見直しの時期になる。次年度点検させていただければと思う。

上甫木委員長

目標3について、デマンド交通について記載されているが、具体的にどんな地域でどんな内容か。

事務局

まだ導入にはなっていない。今年の秋に導入を予定している。精華町の北部地域に走らせる予定である。来年度の報告には実績が記載出来ると思う。

上甫木委員長

P16に、地域経済循環のデータがあるが、データは修正するのか。

事務局

国のデータからの引用となるので、最新版が出れば、最新に変えさせていただきたい。

上甫木委員長

さきほどの、地域経済循環の話にも繋がる話かと思う。

まだ、報告書完成まで時間があるので、意見があれば事務局にお伝えいただければと思う。また、欠席者の方にも意見をお聞きいただければと思う。

信田委員

目標4にかかるのかもしれないが、前回まで議論していた、データセンターの話について、どこかに記載は必要ないか。

AIなど、どうしてもデータセンターが増える社会になる。認可は京都府かもしれないが、地下水がどうか。地下水は公共なので、くみ上げられてどういう使い方をされるのか分からない。

精華町の環境問題としては、どこかに触れておく必要のある問題か

と思う。データセンターの扱いを今すぐ決められるかは分からないが、考える必要がある。

上甫木委員長

実は、気になっていて、その他でとりあげようかと考えていた。学研都市は精華町の顔であり、解決の方向で議論をしていく必要がある。京都府のアセスメントも景観のみという。景観も非常時には問題となり、それ以外にも騒音や低周波の問題もある。建屋の作り方、改善の方向性も考えられる。

今後の議題になることも想定される中で、行政として、どういう措置がとれるのか、考える必要がある。環境推進委員会は町の環境行政の進行管理をするということと、環境に対する提案やそのような事案を検討するという義務があるので、委員のみなさんが合意されれば、ここでの検討課題として今後に向けて、現状の課題解決もさることながら、今後に向けて町として、あるいは国に向けてどのように申し入れをするのか、アセスメントをどう考えるのかなど、推進委員会として意見をいただき、町などと協議いただくということを考えていかないと、また同じことが起こる可能性は凄く高いと思うが、みなさんはいかがか。

寺本副委員長

データセンターがあのような問題が起こりうるということすら知らなかった。こんな問題があるということだけでも、トピックとして1ページくらい踏み込めるとよい。

信田委員

これからデータセンターが増える。このまま手をこまねいて良いのか。水の問題については、精華町は言えるのではないか。

AI、DX など社会の風潮として止められない。一方で、そのままでよいのか。

上甫木委員長
事務局

町の方でも検討いただければと思う。

今後の誘致について、どのような対応をしていくのか、町として決めていく必要がある。その方向性を、住民の皆さんにお知らせしていくという方向で、内部で検討しているところである。

信田委員
事務局

町でその様な方針がだせるのか。

これまで、誘致や京都府との関係などで来るモノ拒まずという印象を持たれていると思うが、データセンターに対する認識を示していく必要があると感じている。

建てるならこういうことを守って欲しいといことも行政サイドから言う必要がある。ただ、法的なところは、最低限としてクリアされているところもあるが、それ以上のことは地域として協力をお願いしていくということを示していく必要がある。

信田委員

アメリカの研究で、AI で 30 秒の映像を作ったら、風呂桶一杯の水を

使うという話もある。農業の問題、我々は飲み水を地下水に頼らざるをえない状況にもなるかもしれない。公共の問題なので、使い放題使って良いとしないほうがよいと思う。その点も検討いただけるとよい。

上甫木委員長
事務局

目標 2 の安全・安心な環境の確保に通じるかと思う。

一般的に機器冷却に水を使うケースはあり、先進国では問題になっているところもある。精華町に立地している、あるいは立地しようとしているところは、地下水は利用せずに、電力による空調での冷却方式になっている。

また、電力については再生可能エネルギーを活用することを求めていく必要がある。環境に対する配慮は、事前の指導の中で、進めていく必要があると考えている。

立地予定のところにもそのような方針で進めている。

現在、問題が起きているという実情もあるが、今後立地する企業への指導やルールづくりを進めているところである。

一方で、地下水に関連する届出などの手続きはあるが、企業が増えてくると、くみ上げの問題も出てくると思うので、注目していく必要があると考えている。

③地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の指標について

上甫木委員長
事務局

質問はいかがか。

前回、畑中委員から意見をいただき、反映させていただいた。導入目標では町内で発電したものに、自家消費が目的のものと売電目的のものが混在してるので、町内での消費だけに絞った形に変更させていただいた。

その点が大きな修正点となる。そこ以外は、意見を踏まえた形で入れさせていただいた。

また、導入目標を決定していくが、将来的には環境プラットホームの中で議論していきたいと思っているが、それに向けて推進委員会の方で、進捗報告をしていきたい。

上甫木委員長
事務局

冊子とこのペーパーと関連はどうなっているのか。

本編 P43 に CO2 換算で目標設定しているが、進捗管理に向けて再生可能エネルギー関係の導入目標を設定したということになっている。

国でいう、電力のうちの 36%は再生可能エネルギーを活用という目標に準拠している。

信田委員

資料の事前送付が 1 週間前で、また本日も追加された。なかなか期間が短いと意見が言えない。改善できないか。

事務局 一旦、こちらで進めさせていただき、進捗管理の中で検討させていただきたい。

3. その他

事務局 精華の環境と再エネの導入目標について、次回の10月までに何か意見があれば、事務局までお知らせいただきたい。

最後に、参考資料③についてご紹介したい。

・資料説明

従来制度 最大6万円とあるが、最大12万円の誤植で、(1.5万円/kW)が、(2万円/kW)の誤りである。訂正したい。

信田委員 これ以外に、太陽光発電には、屋根貸し制度がある。色々あるということに住民には周知していただきたい。

事務局 おっしゃるとおり、色々な方法があるので、ホームページへの掲載や本日配布した概要版にも記載させていただいている。機会あるごとに紹介していきたい。

井澤委員 一方で、事業者からの売り込みなど怖い部分もある。そのような啓発もあわせてしていただけると良い。

事務局 事業者を比較されて、検討いただければと思う。今、京都府の事業者の認定制度などもあるので、そのような情報も参考にさせていただければと思う。

4. 閉会

事務局 次回について、10月30日午前中を予定している。
それでは、お忙しい中、長時間にわたりご議論いただきありがとうございました。